

平成26年度事業評価

《 2次評価【理事会による評価】 》

【26年度事業の評価】 A 大変良い(大いにある) B 良い(ある)
C ふつう(少しある) D 良くない(ない)

【今後の方向性】 a 拡大 b 継続 c 一部見直し d 見直し

(1) 市民文化の創造及び育成に関する事業

26年度 事業の 評価	必要性	A	妥当性	B	効率性	B	有効性	A
評 価 説 明	<p>演劇や音楽を通じ劇場自ら創造発信する「厚木シアタープロジェクト事業」に重点を置き、あつぎ舞台アカデミー公演「ドリーム・ドリーム・ドリーム～season4～」を実施したほか、「ネクストステップ第5回公演『おんな武将NAOTORA』」など4事業を実施した。</p> <p>本事業については、財団自らが発信する事業として、充実した内容が実施できたものと認められ、特に、あつぎ舞台アカデミーでは、子どもたち自らが参画する事業として、所期の目的を十分達成できたものと判断する。</p>							
今後の 方向性	b	あつぎ舞台アカデミーを主軸に、現行事業の推進を図りながら、今後の事業の展開等について研究を進める必要がある。						

(2) 市民文化の普及及び振興に関する事業

26年度 事業の 評価	必要性	A	妥当性	B	効率性	A	有効性	B
評 価 説 明	<p>市民の運営による「厚木ジャズ祭2014」を開催したほか、「Sコンサート」や市内小中学校を訪問する「出前コンサート」、初めての試みとしての「スタインウェイピアノを弾いてみよう」など5事業を実施した。</p> <p>幅広い年齢層を対象に事業展開がなされ、特に、アウトリーチ事業では、児童・生徒の大幅な参加人員増となり、一定の事業効果があったものと判断する。</p>							
今後の 方向性	a	現行事業を充実させるとともに、事業メニューの充実についても推進する必要がある。						

(3) 芸術文化の鑑賞機会の提供に関する事業

26年度 事業の 評価	必要性	A	妥当性	A	効率性	B	有効性	A
評 価 説 明	<p>音楽、演劇、伝統芸能の公演や美術展など、23事業で30回の公演等を実施し、優れた芸術文化の鑑賞機会を、子どもから大人まで幅広い世代に提供できたものとする。</p> <p>しかしながら、いくつかの事業において、参加率の低い状況が見られるため、公演内容も含めて、事業の選択に一層の工夫が必要である。</p>							
今後の 方向性	b	<p>市民ニーズの把握に努め、質の高い舞台公演、展示会等の開催や誘致を目指す必要がある。</p>						

(4) 文化情報の収集及び提供に関する事業

26年度 事業の 評価	必要性	A	妥当性	B	効率性	B	有効性	B
評 価 説 明	<p>厚木市文化会館で開催される公演情報を広く市民に提供するため、財団ニュース「ぶんか情報館」を年5回発行し、友の会会員及び市広報紙に折り込んで市内全世帯に配布した。また、毎月、「厚木市文化会館スケジュール」を発行し、公共施設等を通して市民に配布するとともに、インターネットを活用して、当財団ホームページに各種公演情報や施設利用案内等を掲載した。</p> <p>「ぶんか情報館」及びホームページについて、重要な広報媒体であるため、今後も内容の充実を図る必要がある。</p>							
今後の 方向性	a	<p>情報発信を更に推進するため、「ぶんか情報館」及びホームページの内容の一層の充実を努める。</p>						

(5) 芸術文化振興に関する調査研究に関する事業

26年度 事業の 評価	必要性	B	妥当性	B	効率性	B	有効性	B
評 価 説 明	<p>事業計画の立案に資するため、自主事業開催の際に、参加者アンケートを実施しているが、各ジャンルへの関心の高い人が対象であることから、偏りがあると思われ、また回収数が多くないことから、結果については、慎重に分析する必要がある。</p>							
今後の 方向性	b	<p>事業計画立案に当たり、確かな市民ニーズを把握する必要があるため、回収数の一層の増加を図り、更に調査研究を進める。</p>						

(6) 芸術文化振興のための国際交流に関する事業

26年度 事業の 評価	必要性	妥当性	効率性	有効性
評 価 説 明	隔年実施のため、該当事業無し。			
今後の 方向性	b	子どもたちの国際性を養う手段として有意義な事業であるので、現状のまま隔年で継続していく。		

(7) 文化施設の管理運営に関する事業

26年度 事業の 評価	必要性	A	妥当性	B	効率性	B	有効性	B
評 価 説 明	<p>厚木市文化会館の指定管理者として、利用者に各施設を最良の状態をご利用いただけるよう、施設の適正な管理運営を行うとともに、施設の老朽化に伴う修繕等の経費の増加が見込まれる中で、安全な施設管理と利用者のサービス向上に努めた。</p> <p>また、財政状況が厳しい中、利用料金の安定的な確保に向けて、市と協力しながら、より一層利用し易い施設環境の整備と、より効率的な運営について研究をする必要がある。</p>							
今後の 方向性	b	安心安全な施設管理を基本に、利用率の向上に向けての工夫や環境整備について研究を進めていく。						